
不思議な泉

タケノコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

不思議な泉

【Nコード】

N3860M

【作者名】

タケノコ

【あらすじ】

男性警官は脱獄囚を追っていた。そんな時、男性警官が森の中で出会ったものとは……。

（前書き）

連載小説「不思議なお話」に載せた作品です。

白黒のシマシマ服を着た男性は森を必死に走っていた。木々の間を抜け視界が開けた――

「あっ！！」

その先は、崖になっていた。真っ逆さまに落ちる囚人。

ドボン！

弾け飛ぶ水。波打つ波紋。そこは、不思議な泉。囚人はついに浮かんでこなかった。

その泉に、逃走中の脱獄囚を追っていた男性警官が姿を見せた。

すると、不思議な泉が泡立ち始めた。そして、薄っすらと水の中に影が見えかくれし、それは、姿を現した。現れたものはたいへん美しく神々しい女性だった。

「私は、この泉に住まう女神です。あなたは、この泉に何か落とししましたね？」

女神様に、見とれていた三十代の警官は――

「は、はい！落しました！」
と、慌てて言葉を発する。

「あなたが落としたのは次の内どれですか？一つ目は先程、溺死した脱獄囚……二つ目は三年前、あなたに突き落とされた女性……三つ目は投身自殺した前世のあなたの白骨遺体……」

困ったことに、全て自分が落とした人ばかりではないか……。

「おしまい」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3860m/>

不思議な泉

2010年10月9日22時49分発行